

代し書代中の天山が民 そつ時う防じ論片

は「共助が大切。自主防災組織の質を高めたい」と話した。高橋理事長は「地域の一人として貢献したい。施設理解を一層深めてもらえれば」と話した。
(寺田英祥)

息の長い支援を

上伊那医療生協職員
被災地活動を報告

上伊那医療生協は25日夜、東日本大震災の被災地で支援活動をした職員の報告会を箕輪町の上伊那生協病院で行った。地震発生3日後に現地に行った男性看護師は「医療、物資、心のケアなどの支援が必要。1、2年で出来ることではなく長く続けることが必要と感じた」と話した。
同生協は14、25日、3次にわたり看護師や作業療法士など計7人(1人5日間)の支援隊を送っている。宮城県塩釜市にある坂総合病院を中心



に関する相談窓口
前8:30~午後5:15)
☎026-235-7155
事務所 ☎0265-76-6839
の生産管理技術
☎026-235-7220
普及センター
☎0265-76-6842



に活動している。
1次隊の看護師は病院に来た人の重症度を判断するトリアージを担当。「12時間交代でトリアージした。低体温の人の搬送が目立った」と言い、燃料不足のため移動が困難で「どのくらいの避難所があるのか分からなかった」と語った。
2次隊の作業療法士の男性は「ものすごい数の車が壊れた。歩行器、杖、車いすを集めて持っていくことが必要」と指摘。さらに「われわれのメンタルケアがあつての支援。あせりすぎてはいないか考えながら活動することが大事」と、支援する側の心身面の大切さを強調した。
3次隊メンバーで作業療法士の根本賢一さん(53)ら3人は25日に戻った。塩釜市の避



く。問い合わせは同協会(電話02665-78-4111)へ。
(矢島秀章)

ナ・交通事故 県内

今年の前年	累計	前年同期比
2,442件	31人	-70件 +10人
3,034人		-170人



◆企画した山屋(52)伊那市は二活面が必要だが、専者は案外(笑)。

波状線
◆上伊那地方と下諏訪町在住の硬筆書写(ペン習字)の指導者6人による硬筆展が伊那市立図書館で開催中。さまざまな筆記具や用紙で個性豊かに書かれた作品26点が飾られている。写真。

◆いずれも、難科学省後援硬筆書写の資格取得者で、30の知人同士。割り箸ニクな字体で書いて、美しい字体の詩、万年筆やボール多彩な筆記具で表記ごとに色紙やうちわも変え、硬筆に親し演出を図った。

大ヒット絶賛上映中!!

ドラえもん
10:30 13:00 16:45 18:45
(入替制)
犬とあなたの物語

ナルニア国物語
第3巻 アスラン王と魔法の島
(2D・日本語吹替版)
11:45 14:00

▽茅野総支局
保存会3万1058
生クラブ9万1000